

2022年3月期第2四半期決算 補足資料

2021年11月15日
株式会社Kids Smile Holdings
証券コード:7084

- 決算概要 P 2
- 2022年3月期 業績予想 P 12

2022年3月期 第2四半期 決算概要

売上高

52億円

2021年3月期2Q **44**億円

EBITDA

2.6億円

2021年3月期2Q **0.2**億円

運営施設数(2021年9月末現在)

72施設

前年同期比 **+11**施設

在籍児童数(2021年9月末現在)

4,149人

前年同期比 **+793**人

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※ 2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

※ EBITDA: 営業利益+減価償却費

新型コロナウイルス感染症の影響を懸念した利用者の預け控えの動きは一部あったものの、感染拡大時でも休園などによる業績への影響は軽微であった。通期計画達成に向け概ね順調に推移。

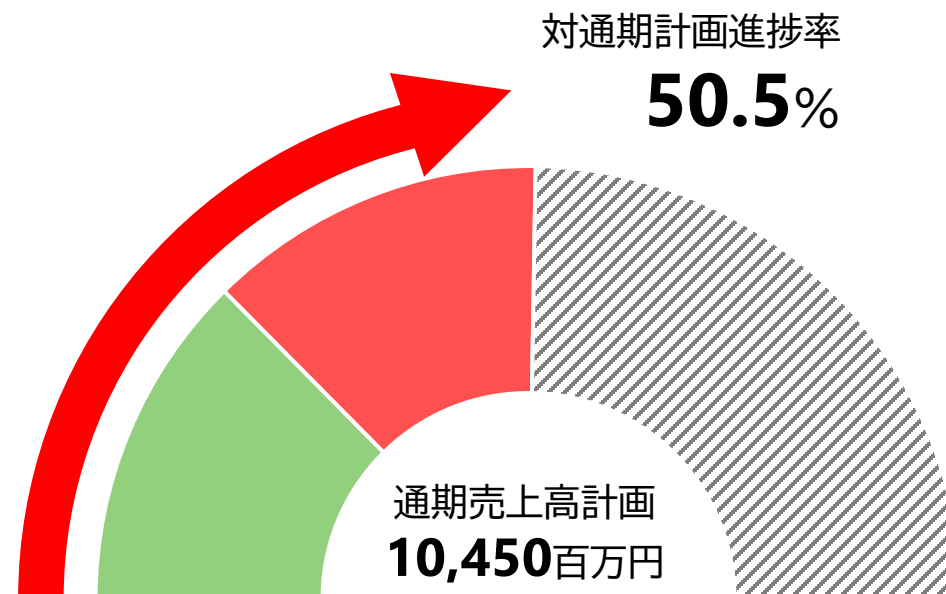
■ 認可保育園事業

東京都に9施設新規開設(4月)
2021年9月末現在:66施設

■ 民間教育サービス事業

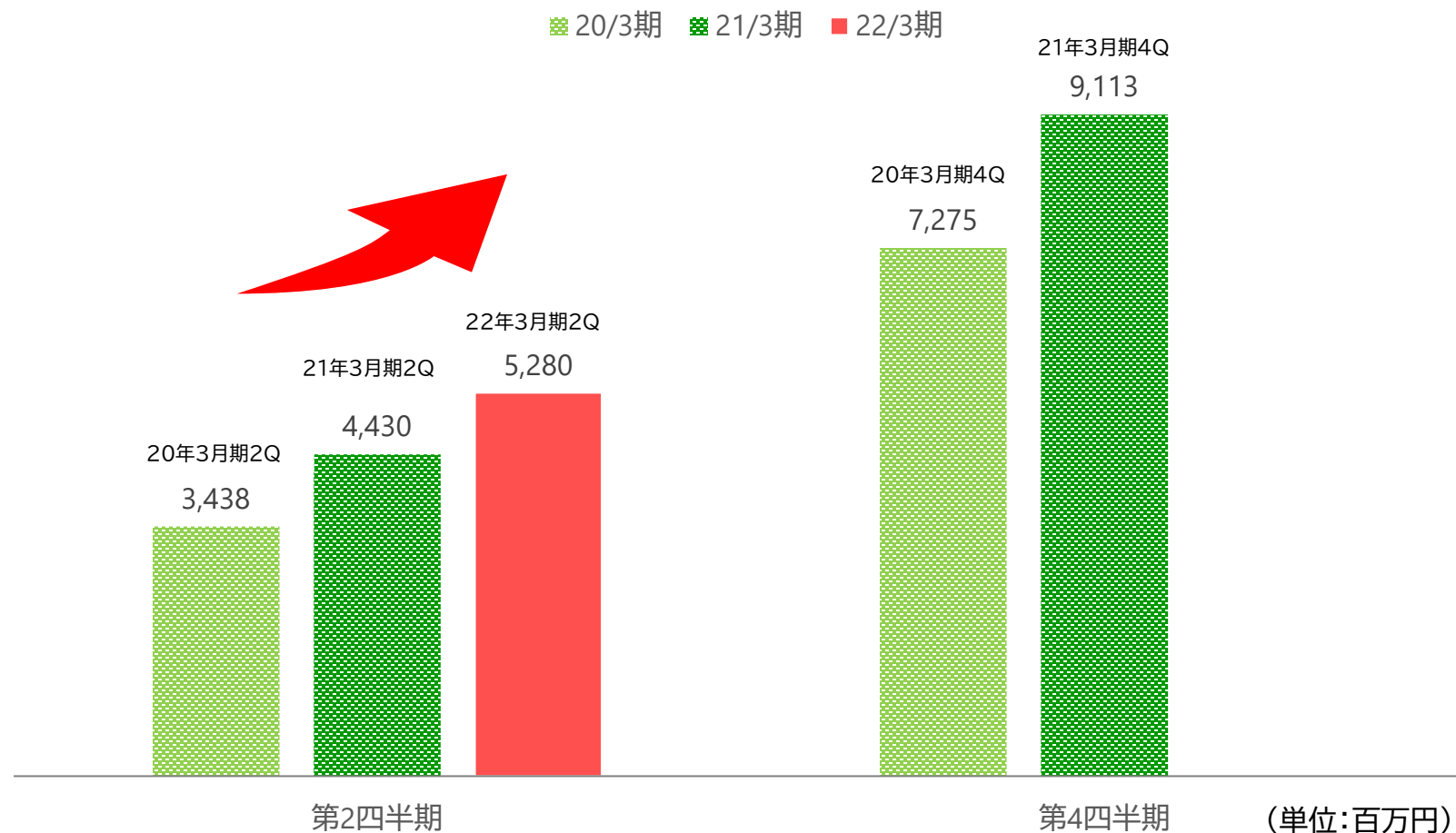
東京都港区(広尾地区)に、当社グループ初の学童・幼児教室併設型施設を新規開設(4月)
2021年9月末現在:6施設

通期売上高計画に対する進捗



2022年3月期2Q 売上高推移(累計期間)

施設数増加及びサービスメニューの強化に伴い、売上高は順調に増加傾向で推移。



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

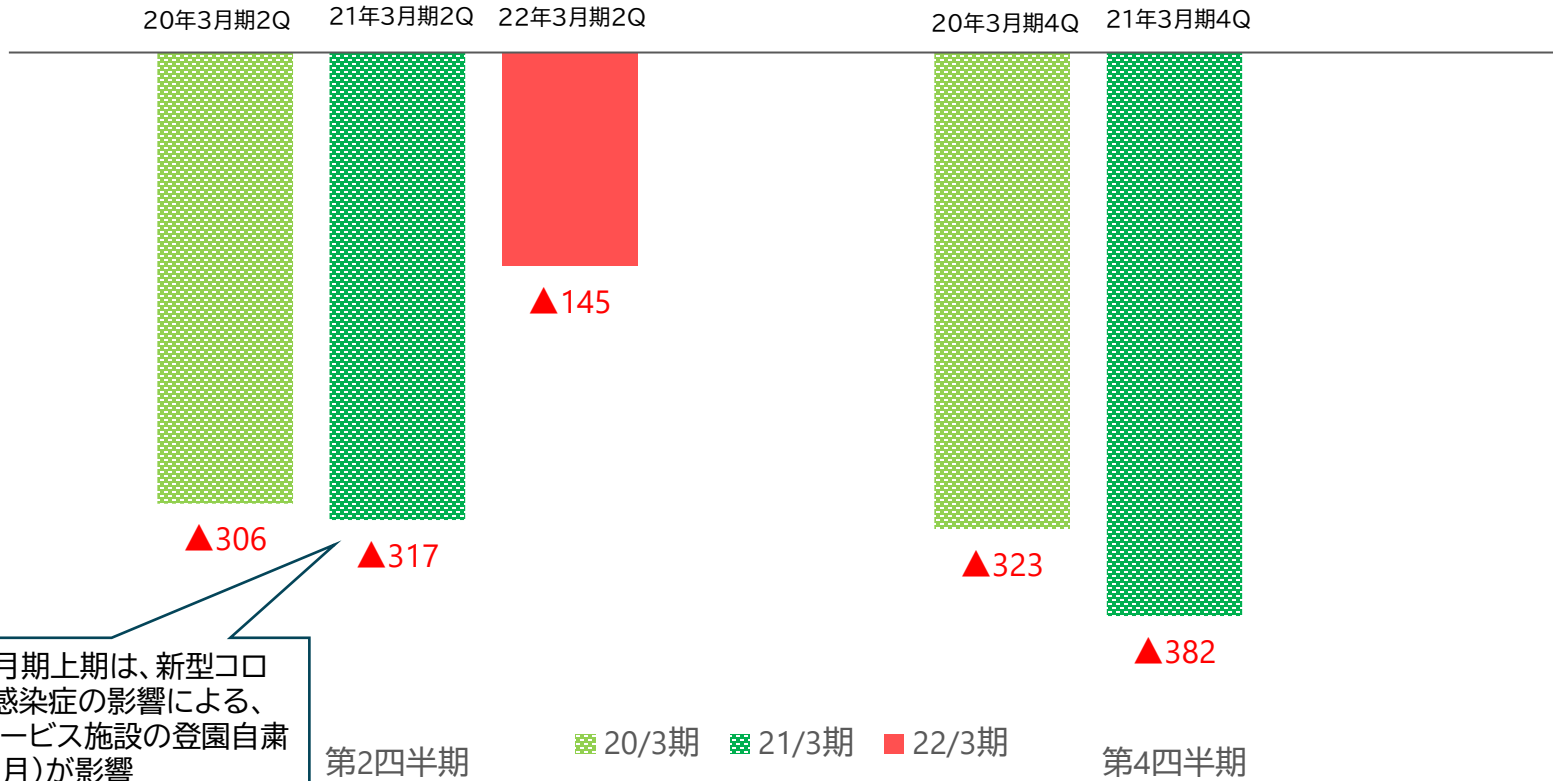
※ 2020年3月期及び2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

2022年3月期2Q 営業利益推移(累計期間)

KIDS SMILE HOLDINGS

新規開園が重なる上期は開園時の初期投資が計上されるため、赤字傾向。
既存施設の割合増加に伴い、上期の営業利益の赤字は縮小傾向で推移。

(単位:百万円)

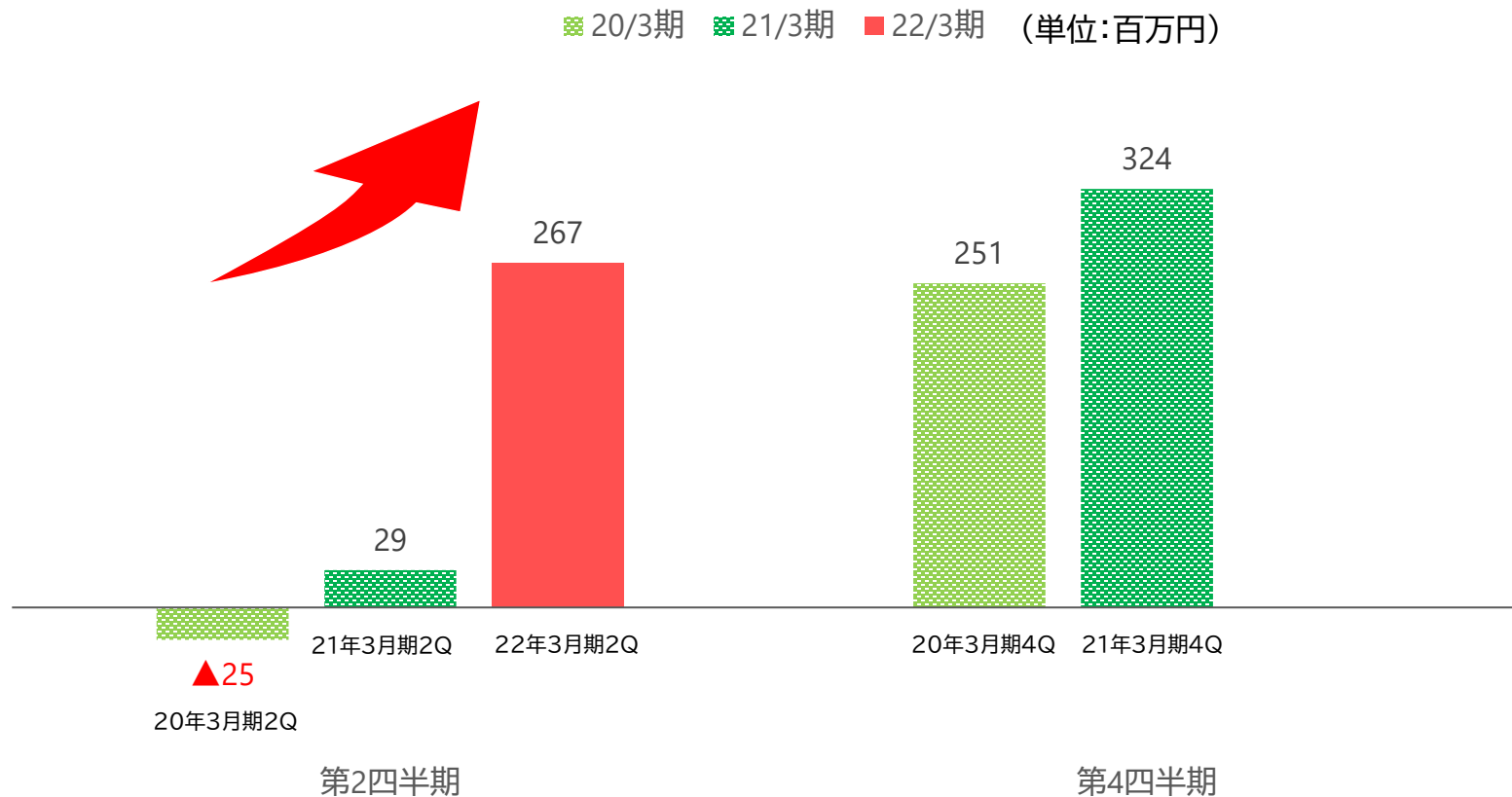


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※2020年3月期及び2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

2022年3月期2Q EBITDA推移(累計期間)

EBITDA(営業利益+減価償却費)は、増加傾向で推移。

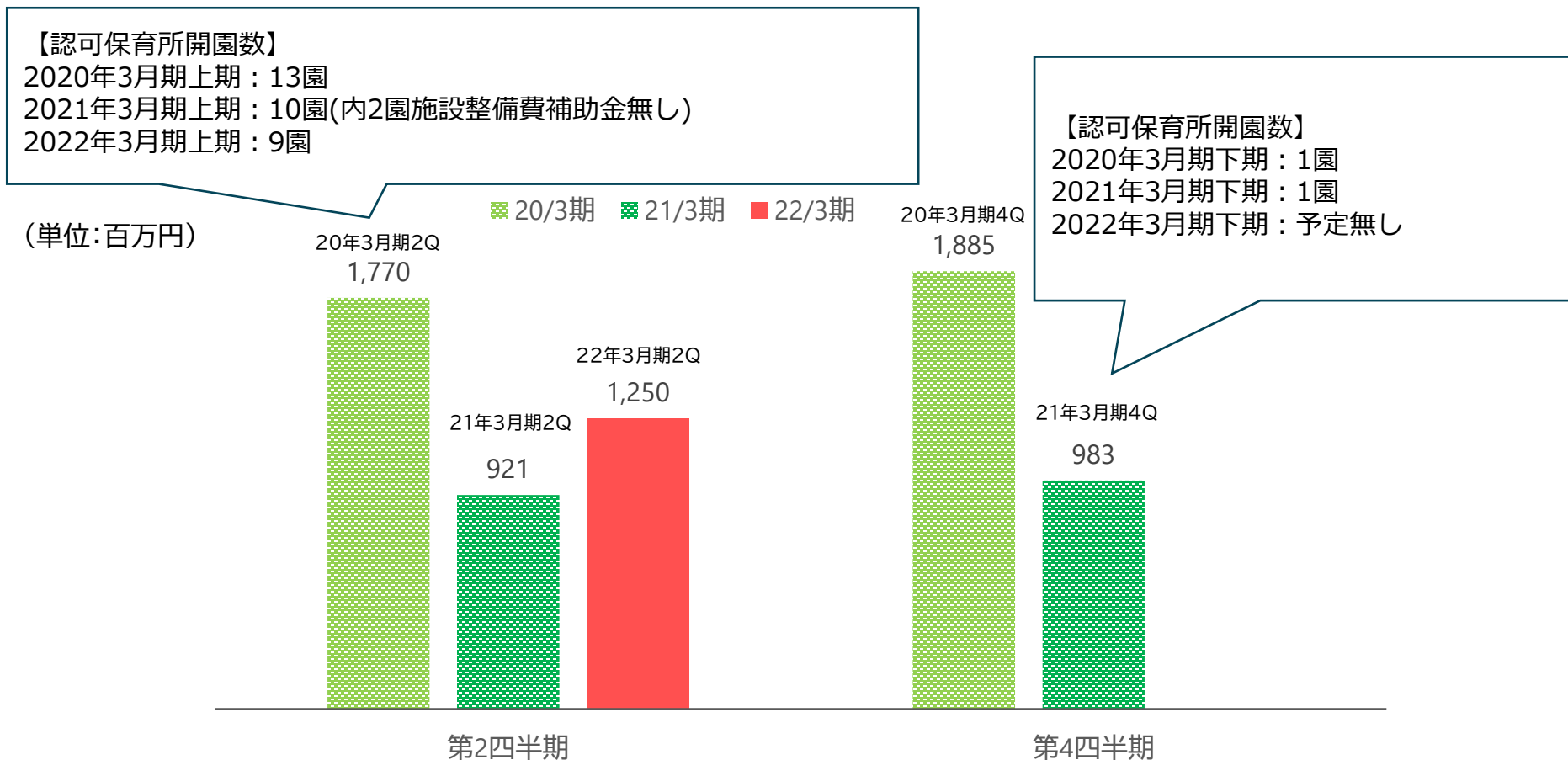


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※ 2020年3月期及び2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

2022年3月期2Q 経常利益推移(累計期間)

経常利益については、認可保育所の開設時の施設整備費補助金(営業外収益)の影響大。今後は、民間教育サービスへの投資シフトにより、営業利益との連動性が高まる見通し。



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※2020年3月期及び2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

2022年3月期2Q PLサマリー(累計期間)

KIDS SMILE HOLDINGS

(単位:百万円)

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q
売上高	4,430	5,280
売上原価	4,046	4,742
減価償却費	340	406
売上総利益	383	537
販売費及び一般管理費	701	683
減価償却費	7	6
営業利益	△317	△145
EBITDA	29	267
営業外収益	1,260	1,425
補助金収入	1,250	1,418
経常利益	921	1,250
親会社株主に帰属する 四半期純利益	600	813

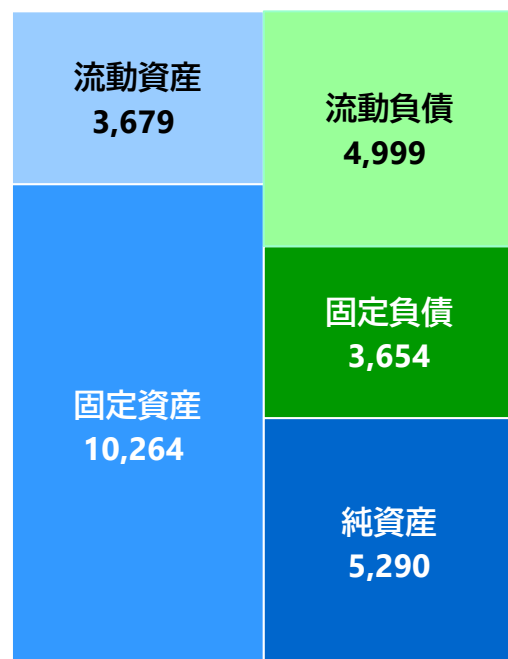
※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※ 2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

前期に借入している4月開園の設備投資費用は、上期で返済。

2021年3月期末

総資産13,944百万円
自己資本比率:37.9%

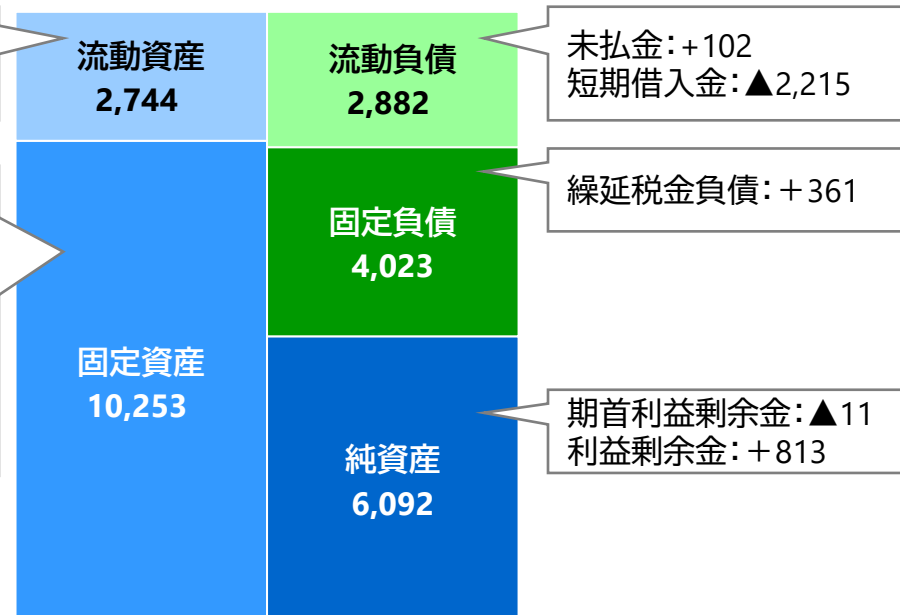


現金及び預金:▲649
未収入金:▲192

建物及び構築物
(純額):+1,124
長期前払費用:+66
敷金及び保証金:+124
建設仮勘定:▲1,386

2021年9月末

総資産12,998百万円
自己資本比率:46.9%



未払金:+102
短期借入金:▲2,215

繰延税金負債:+361

期首利益剰余金:▲11
利益剰余金:+813

資産の部

負債純資産の部

資産の部

負債純資産の部

(単位:百万円)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※ 2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

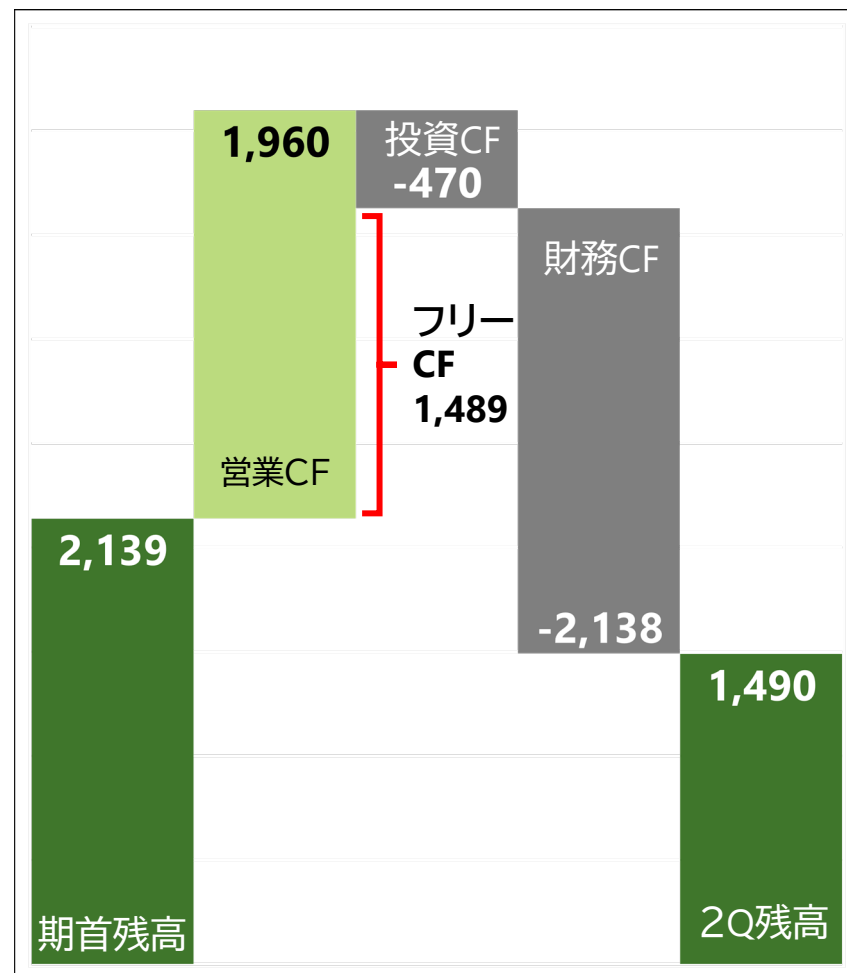
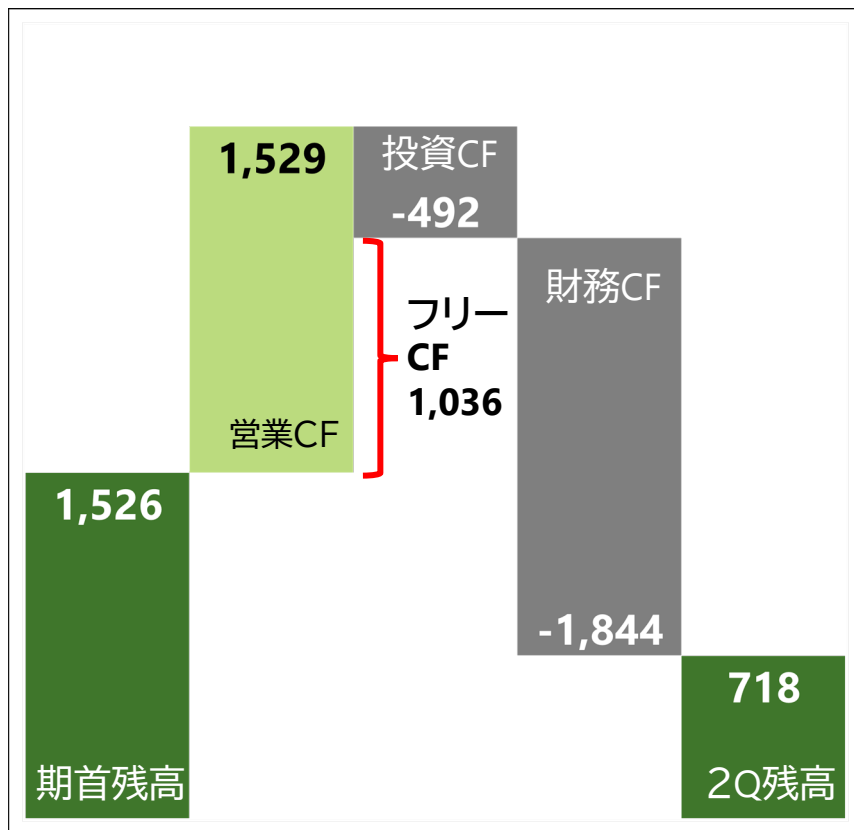
2022年3月期2Q CFサマリー(累計期間)

事業拡大に伴い、キャッシュ・フロー残高が増加。

フリーCF(営業CF+投資CF)については、約1.4倍増加。

2022年3月期2Q (単位:百万円)

2021年3月期2Q



2022年3月期 業績予想

上期は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりましたが、当社においては、業績への影響は軽微であり、**通期計画達成に向け概ね順調に推移**いたしました。

2021年5月発表通期業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響も織り込んでおります。新型コロナウイルス感染症の感染者数は減少傾向で推移しておりますが、引き続き先行き不透明な状況であるため、**現時点での変更はありません。**

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想 (変更無し)
売上高	9,113	10,450
営業利益	▲382	▲590
経常利益	983	820
親会社株主に帰属する 当期純利益	547	500

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)を2022年3月期の第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

※ 2021年3月期については、影響額が軽微の為、旧会計基準で算出した数値を記載しております。

免責事項

本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。